

カルシウム剤によるビターピットの防止法

研究のねらい

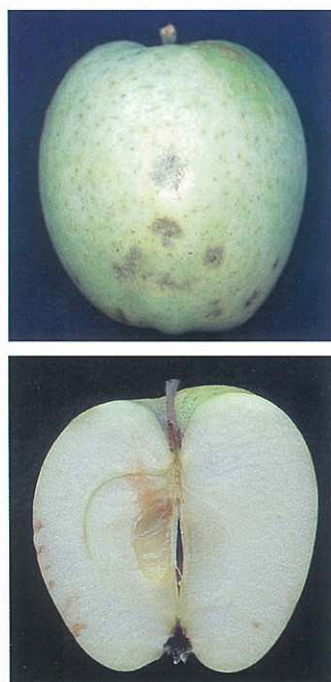
カルシウム不足によって発生するビターピットが年によって大きな問題となるので、防止効果の高いカルシウム剤を検索する。

研究の成果

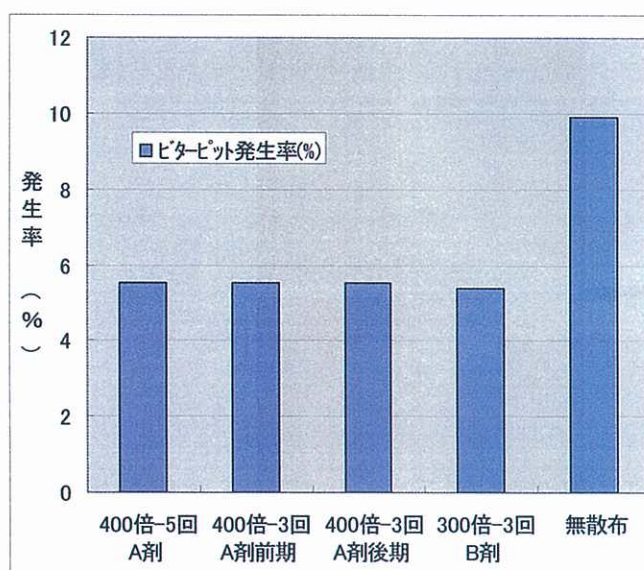
カルクロン、スイカル、セルバインなどのカルシウム剤を6月上旬から9月上旬の間に、3～5回、10～15日の間隔で果実に十分付着するように散布することにより、ビターピットの発生を軽減できる。高温時の散布は葉害を生じるおそれがあるので避ける。

第1表 カルシウム剤の種類と使用方法

カルシウム剤の種類	主成分	散布時期 (月旬)	散布濃度 (g/100%)	散布回数 (回)	備考
カルクロン	塩化カルシウム	6上(つがるは6中)～7下	300	4～5	炭酸カルシウム剤100倍加用
スイカル	ぎ酸カルシウム	7下～9中	330	3～5	
セルバイン	硫酸カルシウム・塩化カルシウム クエン酸カルシウム	6上～9上	250	3～5	



ビターピット (王林)



第1図 カルシウム剤散布が王林のビターピット発生に及ぼす影響(1996)

発表資料

病虫肥料部 (1998). りんごのビターピットに対する果面散布用カルシウム剤 (セルバイン) の効果. 平成10年度指導奨励事項・指導参考資料等: 86-87.